

家庭科学習指導案

指導者 村上 彰彦

川上真由美

指導者 小田 直子

1 学 年 第6学年1組 31名

第6学年2組 33名

2 題 材 名 伝えよう！ありがとうの気持ち

3 題材の目標

【家庭生活への関心・意欲・態度】

○家族や近隣の人々とのかかわりに関心をもち、家族との触れ合いや団らんをもったり、自分の家庭生活をよりよくしたりしようとしている。

【生活を創意工夫する能力】

○家族や近隣の人々とのかかわりについて課題を見付け、その解決を目指して考えたり、自分なりに工夫したりしている。

【家庭生活についての知識・理解】

○家族との触れ合いや団らん、近隣の人々とのかかわりの大切さについて理解している。

4 題材について

○ 本題材は、小学校学習指導要領家庭に次のように示されている。

A 家庭生活と家族

(3) 家族や近隣の人々とのかかわりについて、次の事項を指導する。

ア 家族との触れ合いや団らんを楽しくする工夫をすること。

イ 近隣の人々とのかかわりを考え、自分の家庭生活を工夫すること。

生活をよりよくするためには家族や近隣の人々とのかかわりが大切であることを知り、自分の家庭生活を工夫して、よりよくしようとする意欲や態度を育てることをねらいとしている。ここでは、これまでに家庭科において身につけた基礎的・基本的な技能を活用して、生活に役立つ物や三原の特産物を使ったたこ飯を作って、家族やお世話になった人にプレゼントをし感謝の気持ちを伝えることを通して、家庭生活をより豊かに創りだす実践力を育てたいと考えた。こうした、家族や地域の人々との繋がりに感謝する心は、本校で取り組んでいる道德教育のねらいとも重なるものである。道德教育の内容の視点には、「自己を他の人との関わりの中で捉え、望ましい人間関係の育成を図ること。つまり、自分が他の人との関わりの中で存在し、生かされていることを理解すること」と記されていて、日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えるようにすることの大切さが示されている。本時では、これまでに学習したことを生かして自分たちができることの中から、感謝の気持ちをどのような形で届けるかについて考え、児童が主体的に意欲を持って取り組むことができることをねらいとしている。

○ 本学年の児童は、5学年のときに「めざせ！ゆで方名人」の学習において、ゆで野菜調理を経験した。6学年の1学期には「めざせ！日本の朝ご飯」において、お米の洗い方やご飯の炊き方、みそ汁のだしのとり方などを学習した。合わせて日常の食事のバランスについて、自分の食事を見直して、体に必要な栄養素の種類と働きについて知り、食品を組み合わせるとる必要があることを学習した。また、布を使った裁縫としては、5学年では、手縫いの基礎とミシンを使ってのエプロン作り、そして、6学年では、ミシンを使ってナップサック作りを学習した。こうした学習をするときに、家庭科授業お助けスタッフの皆さんから、困ってところで指導を受けたり、

手縫いの仕方やミシンの使い方を教えていただいたりした。また、調理においても家族からアドバイスを受けて、お助けスタッフのみなさんに調理実習で助けてもらったりすることにより安全に楽しく調理することができた。また、児童は、登校時において安全指導を受けたり、野球やソフトボールなどにおいて指導を受けたり様々な場において地域の人々にたくさん支えてもらいながら生活している。ここでは、生活を振り返り、自分でできるようになったことを振り返ると共に、お世話になった人々へ感謝の気持ちを伝えることにより、自分の思いの表し方を工夫したり相手の立場を理解したりして、触れ合いを工夫できるようにさせたいと考える。

- 指導にあたっては、これまで家庭科の時間において身につけた知識や技能を活用して、家族や地域の人々に喜んでもらえる品物を作り、感謝の気持ちと共にプレゼントするように指導する。また、家族やお助けスタッフの皆さんや地域の人々にどのような場面でのどのようにお世話になってきたかを具体的に話し合うことにより、近隣の人々に支えられて成長してきたことを知ると同時に自分からできるようになったことについて進んで実践できる態度が育つように指導する。地元の特産物であるたこを使った調理では、地元の食材について知り、食を通して地域の人々と深くかかわり合っていることを理解できるように指導する。

5 題材の評価規準

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
家族や近隣の人々とのかかわりに関心を持ち、家族との触れ合いや団らんをもったり、自分の家庭生活をよりよくしたりしようとしている。	家族や近隣の人々とのかかわりについて課題を見付け、その解決を目指して考えたり、自分なりに工夫したりしている。		家族との触れ合いや団らん、近隣の人々とのかかわりの大切さについて理解している。

6 指導計画（全11時間）

次	時	学習内容	期待する児童の意識の流れ	評価規準（評価方法）
一 次		<伝えよう！ありがとうの気持ち > 家庭科の学習を通して、 できるようになったことを振り返ろう。		これまでの学習を振り返り、家族やお世話になった人たちとの関わりに関心をもっている。 【家庭生活への関心・意欲・態度】 (発言)
	1	○ 今までの家庭科の学習を振り返って話し合う。  家庭科の時間にいろいろ学習したね。調理をするのが楽しかったね。家でも作れるようになったよ。 ナップサック作りでミシンを使って裁縫をしたのも楽しかったね。お助けスタッフのみなさんにいろいろ助けてもらったよ。できるようになった技を使って感謝の気持ちを伝えられる物を作りたいね。  家族や地域のお助けスタッフの人達に感謝を伝えよう！		
二 次	2	○ 家庭科の学習を生かして感謝の気持ちを工夫して伝える学習計画を立てる。  楽しかった調理実習のことを思い出して、三原の名物たこを使ったたこ飯を作ろう。 感謝の気持ちを伝える物を作ろう！	 家族に使ってもらえる物を作りたいね。	家族との触れ合いの大切さについて理解している。 【家庭生活についての知識・理解】 (発言・ワークシート)
	3	○ 生活に役立つ物を作り始める。  ミシン縫いや手縫いができるようになったので自分で作るのが楽しみなね。  クッション・お弁当包み・枕・お買い物バッグなど自分で選んだ物を作るよ。		家族や地域の人とのかかわり合いの中で、支えてもらってきたことを理解している。 【家庭生活についての知識・理解】 (行動観察・発言)

三次	4	○ミシンを使って作品を作る。 ナップサック作りでミシンの使い方に慣れているから大丈夫ね。家の人が喜んでくれるといいな。		・ 家族との触れ合いについて、家庭科で身に付けたことを生かして、自分なりに工夫している。 【生活を創意工夫する能力】 (行動観察)
	5	○プレゼントになるように丁寧に仕上げる。		
	6 (本時 六の二)	○小物を作製し、家族に小物とメッセージカードを渡す。		・ 家族に感謝の気持ちを伝えようと工夫している。 【生活を創意工夫する能力】 (行動観察・発言)
	7	○たこ飯作りの実習計画をたてる。		・ 近隣の人とのかかわりについて見直し、これまでの調理実習で身に付けたことを生かし、感謝の気持ちを伝えるために、自分なりに工夫しようとしている。 【生活を創意工夫する能力】 (行動観察)
	8	○できるようになった調理法を使ってたこ飯を作る。		
	9 (本時 六の一)	○たこ飯を盛り付けて一緒に会食することにより、お助けスタッフのみなさんに感謝の気持ちを伝える。		・ 自分なりに工夫して、感謝の気持ちを伝えようとしている。 【生活を創意工夫する能力】 (行動観察・発言)
		家庭科お助けスタッフのみなさんにはいろいろお世話になったね。ナップサック作りでは、ミシンの使い方を習ったね。お弁当作りでも、野菜の切り方や炒め方をアドバイスしてもらったね。やさしく教えてくださったね。 考えよう！家庭でもできること		
		家庭でもっとチャレンジしてみよう！ 「家庭科の学習を生かして家庭でも家事をたくさんしよう」		
	10	○感謝の気持ちが伝わったか、もっとできることはなにか話し合う。		・ 家族との触れ合いに関心をもち、家庭でも続けて意欲をもって調理や裁縫をし、家族と触れ合おうとしている。 【家庭生活への関心・意欲・態度】 (発言・ワークシート)
		家族からお礼のお返事がきたよ。		

1 1	○自分を支えてくれた家族や地域の人の思いや願いを考える。 家族や地域の人とのつながりを大切に生活していきたいね。 	・ 家族や地域の人たちがかかわり合い、協力して家庭生活を支えていることを理解している。 【生活に関する知識・理解】 (発言・ワークシート)
-----	--	---



- ★ 「めざせ！ゆで方名人」(第5学年) 調理の手順や用具の使い方を知ろう。
＜B(1)ア, (3)オ＞
- ★ 「めざせ！おはり名人」(第5学年) 針と糸を使って簡単な縫い方ができる。
＜C(3)イ, ウ＞
- ★ 「めざせ！日本の朝ご飯」(第6学年) 食べることの大切さを考えよう。
＜B(3)イ, ウ＞
- ★ 「生活に役立つ物を作ろう」(第6学年) ナップサック作りをしよう。
＜C(3)イ, ウ＞
- ★ 「お弁当作りにチャレンジ」(第6学年) 食べ物の組み合わせを考えよう
＜B(1)イ, (2)ウ＞

7 [6年1組]本時の指導

(9/11時)

(1) 目標

○自分と家庭科お助けスタッフの人との関わりを考えて、感謝の気持ちの伝え方を工夫する。

【生活を創意工夫する能力】

(2) 準備物

たこ飯・容器・メッセージカード・写真

(3) 展開

思考過程	学 習 活 動	主な発問・指示と 予想される児童の反応	指導上の留意点 ☆支援を必要とする児童への 手立て	評価規準 (評価方法)
つかむ	1 本時の学習課題を確認する。	○ 三原の特産物を使ったたこ飯を盛りつけよう。	・前時に作ったたこ飯を会食できるように盛り付けさせる。	
	2 たこ飯を盛り付ける。	伝えよう！ ありがとうの気持ち  たこ飯を盛り付けよう。  ○たこ飯むすびの手順を確認する。 ○たこ飯のよさについて振り返ろう。 ・味つけに気をつけた。 ・三原の特産物のたこを使った。 ・冷めてもおいしい。 ○盛り付けるときに、どんなことに気をつけたらいいでしょう。 ・いろどりを考える。 ・心をこめて、ていねいに盛り付ける。 ・もらってうれしいものにする。 ・にんじんを花型にする。 ・メッセージも入れよう。	☆たこ飯の盛り付け方が分かるように図などを使って示す。 ・たこ飯づくりでは、三原の特産物であるたこや具材の野菜を切ったり煮たりしてきたことを想起させる。 ☆牛乳パックの底を3cmに切った物を使ってたこ飯を詰めて四角の型にする。パックの底にサランラップを敷き、材料を詰めていくことができるようにする。	
深める	3 たこ飯で会食をする。 言語活動の充実 お助けスタッフの方々に感謝の気持ちを伝える。	○たこ料理とメッセージをお世話になったお助けスタッフの皆さんにプレゼントしよう。	・これまでにできるようになったことが、どんな所で役立っているか伝えることができる。	・自分なりに工夫して、感謝の気持ちを伝えようとしている。 【生活を創意工夫する能力】 (発言)

まとめる	4 本時のまとめ	○本時の振り返りをする。	☆これまでの学習の写真やできるようになったことを、まとめた新聞を活用して発言できるようにさせる。
	5 次時の予告	家でも伝えよう ありがとうの気持ち！	
			・家族にも感謝の気持ちを伝える工夫をしていくことを知らせる。

8 板 書

伝えよう ありがとうの気持ち！

たこ飯を盛りつけよう。

ゆでだこ・にんじん・ごぼうを入れて作ったたこ飯で、たこ飯むすびを作ろう。

- 具が偏らないように、たきあがったご飯と混ぜる。

牛乳パックを使って、四角おむすびを作った。

三原は海が近くて昔からたこ漁が盛んだんだね。

冬には根っこの野菜、人参やごぼうを食べると体にいいんだね。

牛乳パックを使った四角のおむすび簡単で楽しいね。

いろいろ お世話になってありがとう

写真を貼る
教わっている場面
の写真

メッセージカード

メッセージカード

わくわくニュース

家族や地域の人々にありがとうの気持ちをこめて

わくわくニュース

できるようになったことを振り返って

○家族に感謝の気持ちを伝えようと工夫している。

【生活を創意工夫する能力】

手作り品・裁縫道具・小物用フェルト・デジタル画面（写真）・ワークシート・メッセージカード

思考過程	学 習 活 動	主な発問・指示と 予想される児童の反応	指導上の留意点 ☆支援を必要とする児童への 手立て	評価規準 (評価方法)
つかむ	1 本時の学習課題を確認する。	○手作りの品物をプレゼントする準備をしよう。	・一人一人が手作りの品物を手渡すことができるようにする。	
	手作りグッズで家族に感謝の気持ちを伝えよう			
深める	2 言語活動の充実 家族に役立つ品物をどんなところで役立ててほしいか話し合う。	○手作りの品物についてどんな気持ちを込めて作ったか話し合おう。 ・母のためにエコバッグを作った。端を返し縫いで丈夫に縫った。 ・父のために弁当包みを作った。直線縫いを印の通りに縫った。仕事に持って行ってほしい。 ・姉のためにクッションを縫った。くつろいでほしい。裏から縫うことに気を付けた。	☆手作りの品物を製作している写真や実物を見て、どんな工夫をしたか話し合わせる。 ・誰に対するものか、作った時に気をつけた部分、がんばった部分、作った理由、どのように使ってほしいかを発表させる。 ・友だちがどのような工夫をしたか気付かせる。 ・全体やグループの中で発表させる。	
	3 簡単な小物を作成する。	○家族の人への感謝の気持ちをこめて、手縫いで小物を作ろう。 ・感謝の気持ちを込めた手紙に添える小物を作り、簡単にラッピングする。	・家族のことを考えて、ていねいに小物作りをさせ、これから挑戦したいことや感謝の気持ちなどを書いた手紙を添えさせる。 ・事前に家族のニュースや感想を集めさせておく。	家族に感謝の気持ちを伝えようと工夫している。 【生活を創意工夫する能力】(作品発言 手紙)

4 片付けをする。

○使った道具を片付けましょう。

・班で責任を持って片付けをさせる。

5 本時のまとめをする。

○本時の振り返りをして次時の目標を知る。
・できるようになったことが増えた。
・家族の一員としての仕事はまだまだある。
・プレゼントを渡して感謝の気持ちを伝えよう。

○ワークシートで本時の活動を振り返らせ、次時への意欲を持たせる。
・家族にプレゼントを渡したときの感想を聞いてくるようにさせる。

6 次時の予告

お世話になった人に伝えよう 感謝の気持ち！

○調理実習で身に付けたことを生かして感謝の気持ちを伝えることを知らせる。

8 板書

伝えよう！ ありがとうの気持ち

手作りグッズで家族に感謝の気持ちを伝えよう。

作った理由 仕事で使ってほしい 家でくつろいでほしい

がんばった所 返し縫い 糸の始末 印通りに縫うこと

家族への思い 家の人のようにはうまくいかなかったけれど
いつまでも長く使ってほしい。
これからも仕事をがんばってほしい。
できることは自分でも手伝いたい。

写真

または実物

写真

写真

お世話になってありがとう

できるようになったこと

これから
の決意

感謝の
気持ち

メッセージ
カードの紹介

メッセージ
カードの紹介